

イノベーションに挑む企業の『個』の光を引き出し

地域の大きな輝きに



日本商工会議所 会頭 岡村 正

平成二十一年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。元氣な企業・地域が

日本経済を支える

経済のグローバル化、IT化・ネットワーク化の進展、価値観・ニーズの多様化など、わが国の経済社会情勢はめまぐるしく、大きく変化しております。こうした中、わが国経済は、世界経済の同時減速による急激な輸出の減少、個人消費の低迷などにより景気後退に直面しております。一方、少子・高齢化、財政再建、地球温暖化、社会保障制

度のあり方など、構造的な大きな課題を抱えております。厳しい経済社会環境ではあります。この危機を克服の機会と捉え、イノベーション(改革)を果敢に遂行することにより、個々の企業で働く従業員が活き活きとその能力を発揮し、個々の光を輝かすことが、日本経済の活力向上につながるものと確信しています。このためにも、独自の強みを存分に発揮できる自由で活力ある経済社会を構築することが強く望まれます。

現場に立脚した明確なビジョンを示して地域の産業活動を支え、雇用の維持・創出にも重要な役割を果たしている中小企業が、絶え間ないイノベーションへ

に内包する様々な情報を的確に把握することにより次にやるべきこと、さらには中長期的に進むべきビジョンが導かれると思います。わが国経済はこれまでない困難に直面しておりますが、現状を見据え、明確な将来のビジョンを皆さんと共有し、希望に満ちた明るい未来に向かって邁進してまいります。一つひとつの力は小さくとも、同じ方向に一致に舵を切れば、大きな推進力になります。

「個が光る」活動を展開することを大いに期待しています。個々の企業の光をコーディネートし、大きな地域の光にすること、それがわれわれの役目です。皆様の一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。あけまして年頭のごあいさつといたします。

初心に振り返り県民中心・市町村重視の県政を推進

市町村重視の県政を推進



栃木県知事 福田 富一

会員の皆様、あけましておめでとうございます。

私は、昨年の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様のお支えをいただき、引き続き県政を担わせていただくことになりました。今、改めてその責任の重さを実感いたし

ますとともに、県内各地でいただいた県民の皆さんの「とちぎ」に対する熱い思いや、数々の励ましを心の糧とし、初心に振り返り県民中心・市町村重視の県政を推進していく決意であります。

さて、我が国は、本格化する少子高齢社会への対応、高度情報社会の進展、さらには地球規模での環境問題など多くの課題に直面しており、これまでの成長を支えてきた社

会経済システムからの転換が求められています。加えて、世界的な金融危機等の影響による景気後退局面の中にあつて、県においては、地域の活力を向上させ、県民が安心して住むことができる施策をいかに展開していくかが喫緊の課題となっております。新たな視点での時宜に即応した県政運営が求められています。

このため、景気対策に万全を期すとともに、地域間格差を是正や地域医療の確保、災害等への対応、商工業・農林業の振興、若年層等の雇用拡大などの課題解決に向けて、昨年九月に策定した「平成二十一年度政策経営基本方針」による積極的な対応を図り、真に市町村が輝く「とちぎ」づくりを進めてまいります。

また、昨年十二月には北関東道の栃木・茨城間が全線開通し、物流はもとより産業や観光など様々な面で広域的な連携・交流を深め、本県活力の向上を図って参りたいと考えております。一方、県政運営の大きな課題である財政の

健全化に向けて、徹底した事業の選択と集中、民間活力の積極的な活用、総人件費の抑制等に努め、持続可能な財政基盤の確立を図って参ります。今後とも、私は、皆様と一緒に汗を流し、「無名有力県」から「有名有力県」への転換を図って参りたいと考えておりますので、より一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のあいさつといたします。

平成二十一年の新春を迎え、両毛地域の会員の皆様に謹んで新年のご祝詞を申し上げます。最近の経済状況を考えますと、昨年の前半は原油・資源価格の高騰に苦慮して参りましたが、九月のリーマン問題に端を発して、全世界で、一気に金融危機が拡大し、モノの動きが大幅に

足利商工会議所 会頭 地 義 治

余の会員を有し、同規模の人口を擁する全国商工会議所の中では、会員及び組織率で全国一位を維持することができました。今後は、地域総合経済団体として会員企業のニーズをしっかりと捉え、産業の振興、地域活性化の推進役として大いに活動し

所は会員皆様の「身近なパートナー」として、一層安心できる環境づくり、地域起こしに邁進したいと考えております。郷土の持つ自然、伝統技術を活かし、農業・商業・工業の連携事業「顔の見える会議所」として、相談業務の充実や販売促進を図るためプレミアム付消費

券の一層の充実など、一つひとつしっかりと取り組み、本市における郡内町との合併を見据え「目くばり 気くばり 思いやり 今日の出会いを大切に」をモットーに歩んで参ります。

配慮した企業風土の醸成を図ることを掲げております。もちろん、商工会議所の存在意義ともいえる政策提言活動、中小企業に対する支援活動、特に本年は金融問題を中心に従来にも増して力を注いで参ります。また「群馬大学工学部との交流会」を中心とする産学官の連携、中心市街地の再生、フアツシヨントウン構想の推進による「ものづくり」まちづくり、人材育成や国際活動の一層の推進に努力してまいります。

落ち込み、経済縮小へと加速され、地域経済も厳しい状況に於かれていますものと考えます。しかし、この両毛地域を見ますと、東北・九州等の地域と比べ多くの優れた点があります。この優位性を生かし、活性化の対策を推進することが、厳しい状況の中にも明るい明日が来るものと考えております。

この様な明るい地域に貢献する商工会議所を目標に、会員と共に歩むことを目指して参ります。

足利商工会議所は、新時代を担う商工会議所として、組織・機能・運営システムの再構築をはかり、「人づくり」「まちづくり」「モノづくり」を官民協働の基本理念として、役員・職員、職員が共に切磋琢磨し、会員企業の現場を直視したきめ細かな対応と活力ある希望に満ちた足利の創出に向け、邁進することを誓い申し上げます。年頭の挨拶とします。

謹賀新年

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
| 頭 | 二内行司 | 容史 | 三男 | 宏司 | 人二 | 郎明 | 雄夫 | 人雄 | 郎道 | 子雄 | 基明 | 史一 | 博雄 | 洋伸 | 司一 | 幸司 | 一滋 | 男興 | 章 | |
| 副 | 好嘉 | 喜堅 | 誠浩 | 良恒 | 勝博 | 卓宣 | 福秀 | 重哲 | 眞一 | 信正 | 悦善 | 公昭 | 紳一 | 重泰 | 隆誠 | 純克 | 有邦 | 英幹 | | |
| 会 | 田田 | 合島 | 村原 | 沼崎 | 澤田 | 井林 | 田澤 | 岡野 | 沼川 | 屋部 | 橋田 | 波子 | 川藤 | 山田 | 呂分 | 田藤 | 山沼 | 崎藤 | | |
| 理 | 龜島 | 落矢 | 岡田 | 笠篠 | 篠篠 | 篠柳 | 増三 | 小栗 | 太田 | 上磯 | 蓼石 | 土水 | 柳原 | 福藤 | 金小 | 伊内 | 嶋茂 | 国米 | 安龜 | |
| 事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 員 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 議 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

館林商工会議所



会頭 本 榮一

新年明けましておめでとうございます。平成二十一年の輝かしい新春を迎え、心からお祝い申し上げます。昨年は、百年に一度の金融危機と言われる未曾有の経済状況にありました。しかし、このような時代環境であればこそ、私たち一人ひとりの心の持ち様も重要になってまいります。会議

桐生商工会議所



会頭 藤 富三

会議所会員の皆様には明るい新年をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。桐生商工会議所は、三つのスロージャン「桐生・みどり両市との合併促進を産業界から支援しよう」「世界遺産登録に向けて絹産業遺産群の活用を図り、産業観光を推進しよう」「環境に

太田商工会議所



会頭 田 寛

平成二十一年の新春を迎え、両毛地域の会員の皆様に謹んで新年のご祝詞を申し上げます。最近の経済状況を考えますと、昨年の前半は原油・資源価格の高騰に苦慮して参りましたが、九月のリーマン問題に端を発して、全世界で、一気に金融危機が拡大し、モノの動きが大幅に

足利商工会議所



会頭 地 義 治

余の会員を有し、同規模の人口を擁する全国商工会議所の中では、会員及び組織率で全国一位を維持することができました。今後は、地域総合経済団体として会員企業のニーズをしっかりと捉え、産業の振興、地域活性化の推進役として大いに活動し